

●春の野草を食する会 4月18日(土) これまでない58名の大勢の参加者で春を満喫

積んできた野草はヨモギ、セリ、カラスノエンドウ、スイバ、ハルジオン、コオニタビラコ、ハルノノゲシ、ギボウシ、レンゲ、アリドオシ、タンポポ、ニオイスマレ、スギナ、ドクダミの14種を摘み取りました。きれいに洗って天ぷらにしました。竹門先生がセリ、ミツバとタラノメを持参していただき味噌汁を作ってふるまわれました。また太田理事は収穫した掘りたての柔らかい筍を提供され、天婦羅の具に使用しました。植物部会のメンバーが調理を担当して8つのテーブルを作り上げ、みんなが囲みました。植物部会の女性たちがご飯を炊き上げて準備していただき、去年の経験から男性スタッフも3升の米を用意しました。それでも楽しく食が進み追加で1升のご飯を炊き上げました。驚いたことに5升のご飯がぺろりと食べつくされました。日頃滅多に経験出来ない野草を自分で摘み取り、それを洗ってすぐ料理して食べられることはなく、野草のみずみずしさを実感されました。

天ぷらのおつゆ入れのお椀は前日に男性スタッフが竹を切り出し、手ごろな寸法に寸切り作業で作りました。まことに里山の会らしい取り組みになりました。余った竹でお箸も制作しました。この日の天気は心配もなく小春日和そのもので、満腹になった子供たちはごろりと大地に横になり自然を満腹しました。それぞれの皆さんは心から来てよかったとのお顔で集合写真に納まりました。



感想文を寄せていただきましたので紹介いたします。

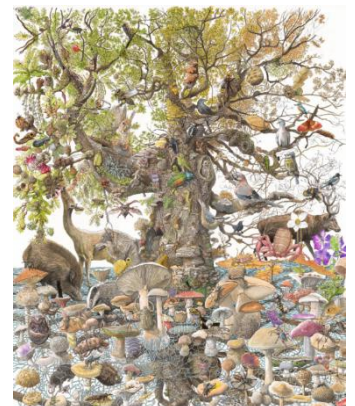
- ・本日は、やましろ里山の会主催「春の野草を食する会」へ参加させて頂きました。農園内にて、有識者の方に教えてもらいながら野草を摘んでいきました。タンポポ、ハルジオン、セリ、ミツバ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、ヨモギ、スギナ等々、どこかで耳にした植物を始め、とても多くの草花が食べられることを学びました。
- ・収穫後は、みんなで天ぷらにして頂きました。ほろ苦かったり、少し甘みがあったり、いろいろ味わいながら食べる事ができました。
- ・また、筍掘りは子どもたちがとても張り切って掘っておりました。
- ・農園内の湿地帯にはオタマジャクシ、カエルがいて子どもたち大興奮でした。
- ・昨日は春の野草を食する会に参加させて頂きまして、ありがとうございました！
- ・到着したら既に筍掘りが始まっていて、こどもたちは普段出会いのないスコップやクワを使うこと自体を楽しんだり、かなりの急斜面にも関わらず、宝物を掘り出すように興奮しながら筍掘りを楽しんでいました。採れた筍の大きさに大満足♪
- ・野草摘みは90歳を迎えられた湯川幸子さんに教えていただきました。湯川さんは戦時中に食べ物がない中、野山に生えている草を食べて生活するのが普通で、そのご経験から色々な草が食べられることを私たちにも教えてくださいました。
- ・驚いたのが、殆どの草が食べられる、ということでした。毒のある野草も教えていただき、ないことを祈りますが、もし、また戦争が起きても生きていけるような気がしました。
- ・自分たちで摘んだ野草を選別し、洗って、切って、手間はかかりましたが、野草摘みでは色々な知識や発見も得て、大変楽しく、いただいた天ぷらやごはん、おみそ汁は清々しい風が通り過ぎていく野山を眺めながらみんなで春の味を楽しんでいただき、格別に美味しかったです
- ・子どもたちも天ぷらを揚げるのを手伝ってくれました。
- ・そして、面白かったのは、天ぷらを揚げてる最中、こどもが摘んでくれたたんぽぽやハルジオンがまた食材として増えていく、ということでした。子どももうれしそうでした。

- ・野草の天ぷらは大変美味しかったです。ただのごはんではなく、こんなものも食べれるんだ〜とか、これはこんな味がするんだ〜とか、筍はエグみが全くなく、柔らかくて美味しすぎる〜など喜びと発見に溢れていました♪
- ・虫もたくさん出てきていて、大きなアカガエルには大人も子どももびっくりでした。帰り際、湯川さんと少しお話をさせていただきましたが、たくさんの教養があり、卒寿を迎えられてもこんなにもお元気で、お話をさせていただいているだけでパワーをいただきました！素敵な本も見せていただきました。
- ・まだまだどうかお元気でください。ありがとうございました♪
- ・大変楽しめました。義母も孫をほったらかして楽しんでいて、かなり楽しかったようで、喜んでいました。
- ・今日はありがとうございました。野草を摘んだり、食べたりするのは親子共々初めてで、とても貴重な体験でした。
- ・味も本当に美味しかったです！主人も参加を楽しみにしていたので、今日は参加できず残念だったようです。次回またぜひ家族みんなで参加させていただきます！！ありがとうございました。

●里山農園でライトアップを夜通しで実施 4月18日(土)~19日(日)

(18日 17:00 幕張・照明点灯、21:00 最終点検~4月19日(日) 6:30 調査点検。)

これまで年に1度7月の夕方から夜に実施してきたブラックライト(紫外線ライト)によるライトアップですが、桜谷先生の助言で高校生になった2人が夜から朝まで点灯して調査することになりました。18日の夕方までに白布(畳2畳の大きさ)、バッテリー、ブラックライトを準備して、タイマーを使って夜7時半から19日の朝まで点灯しました。2人はお母さんの車で農園へ行って準備して、一度帰宅した後、夜9時半頃にも見に行き、朝も6時前から調査、観察をしました。今まで実施してきた7月に比べると極端に虫は少なかったですが、蛾や小さな昆虫を採集でき、10時から金田さんと一緒になって数匹ですが標本化でき正午過ぎに帰宅しました。今後このような調査を月に1度くらいは実施していく予定をしています。



フロリアン・ガデンさんの作品

●中聖牛の調査のため来所されます。 4月24日(金) 13時 木津川玉水広場
岐阜県に在住されているフロリアン・ガデン(Florian Gadenne)さんが24日 13:00に玉水浜の中聖牛にデザイナーとして関心があるので話を聞きたいとのことです。

●竹蛇籠製作指導の可否の問い合わせが来た 岐阜県安八郡輪内町教育委員会 歴史民俗資料館から

お世話になります。輪之内町歴史民俗資料館を管理しております浅野と申します。添付のように、大樽川(おおぐれがわ)洗堰の歴史を蛇籠をとおして伝えたいため、蛇籠再現プロジェクトを立ち上げました。残された写真のように大樽川洗堰築造にはこうした蛇籠が数千個作られたとありますが、明治の河川改修以降は取り壊されその巨大な堰を想像することは難しい状況となっています。資料館に何とか蛇籠を再現したものを展示したいと考えています。ところが



(る堰に砂土は今現) 景全堰洗川樽大

蛇籠の製作についてはどのような方法で作るとよいかわからない状況です。是非、やましろ里山の会の皆様にご指導いただき、地域の方々と一緒に製作し展示できたら希望もっておりますが、ご指導いただくことは可能でしょうか？

輪之内町教育委員会 歴史民俗資料館担当 浅野哲男